

# 健康に関するアンケートⅣ結果について

## 1 目的

日吉津村健康づくり連絡会で健康を維持し増進を図ることを願い、今後のよりよい健康づくり事業に繋げるため、平成26年度に40歳代の方を対象に行ったアンケート及び平成25年度と同じ設問を一部取り入れ、健康に関する意識や状況の比較及び実態把握を目的とした。

## 2 調査方法

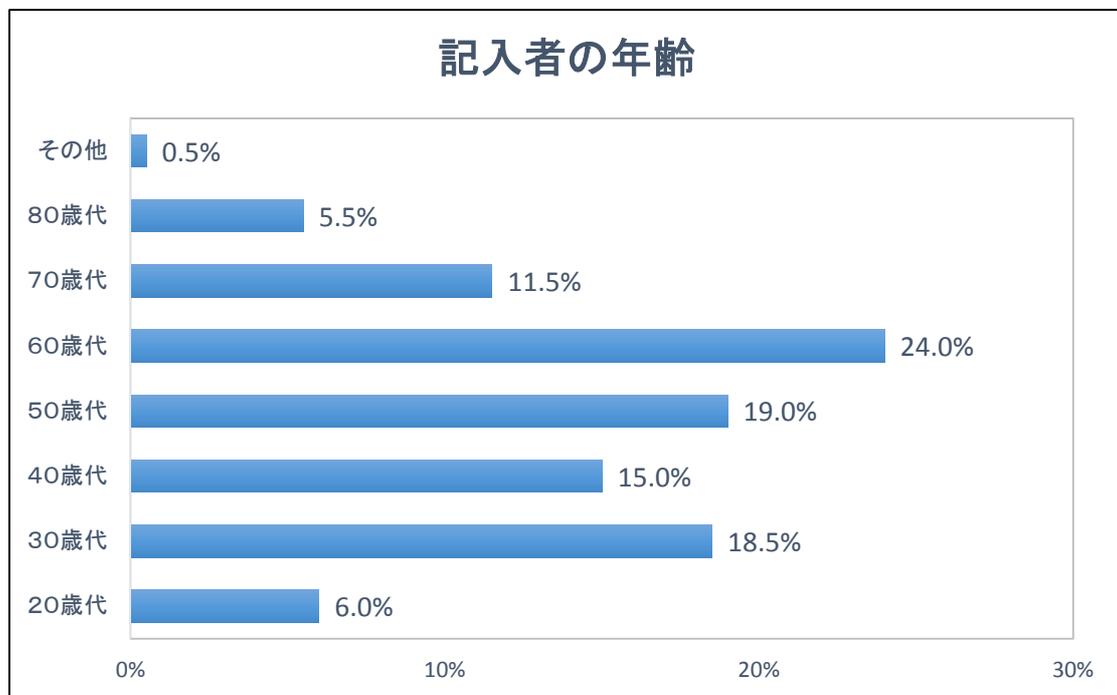
- (1) 対象 ふれあいフェスタ2016ひえづ来場者
- (2) 時期 平成28年11月6日(日)
- (3) 方法 健康づくり連絡会調査部会委員が配布し、その場で記入してもらい回収。(アンケート用紙は、200枚準備。)

## 3 結果

回収率 100% (回収数 200枚)

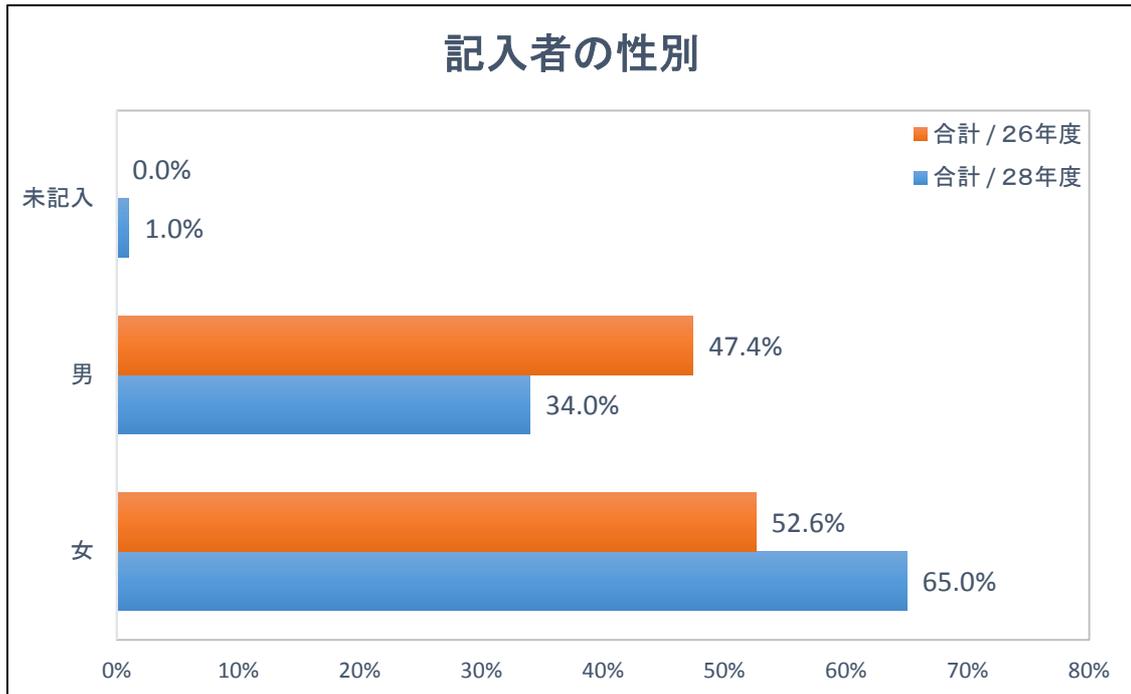
〔平成26年度回収率：25.8% (回収数 116枚)  
平成25年度回収数 153枚〕

### (1) 記入者の年代



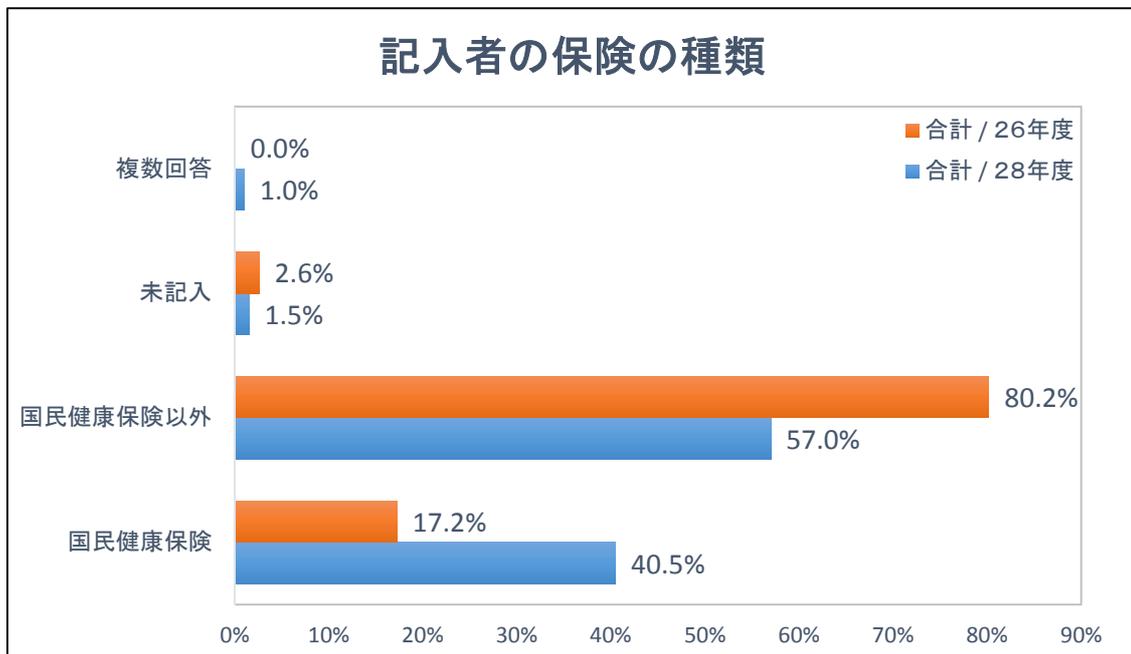
60歳代の人最も多く、次いで50歳代が多かった。

## (2) 記入者の性別



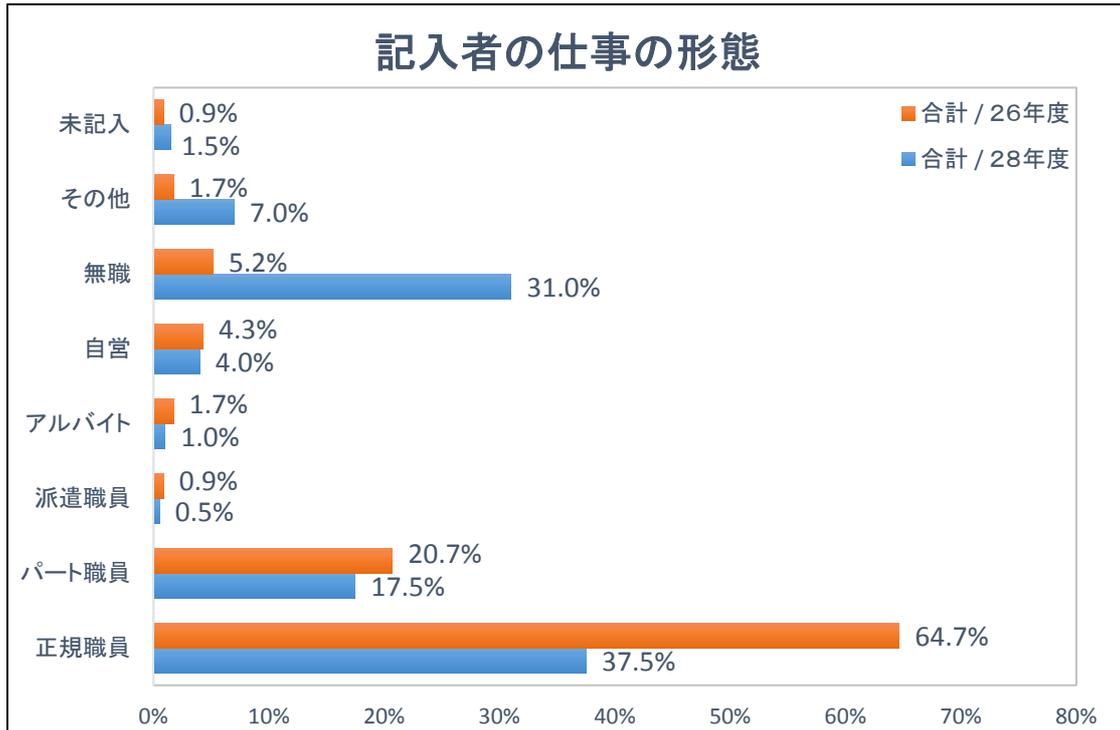
平成26年度より、女性が増えて男性が減っていた。  
女性が65.0%と、男性よりも約1.9倍多かった。

## (3) 記入者の保険の種類



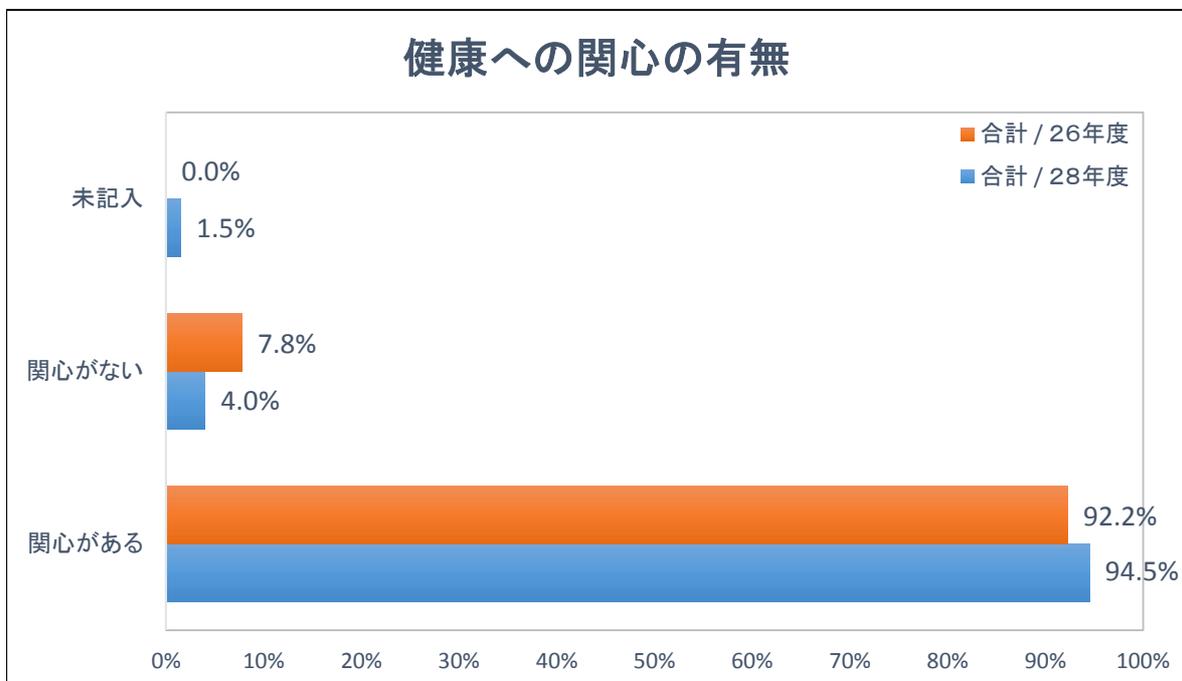
平成26年度より国民健康保険以外の人が23.2%減り、国民健康保険の人が23.3%増えている。

#### (4) 記入者の仕事の形態



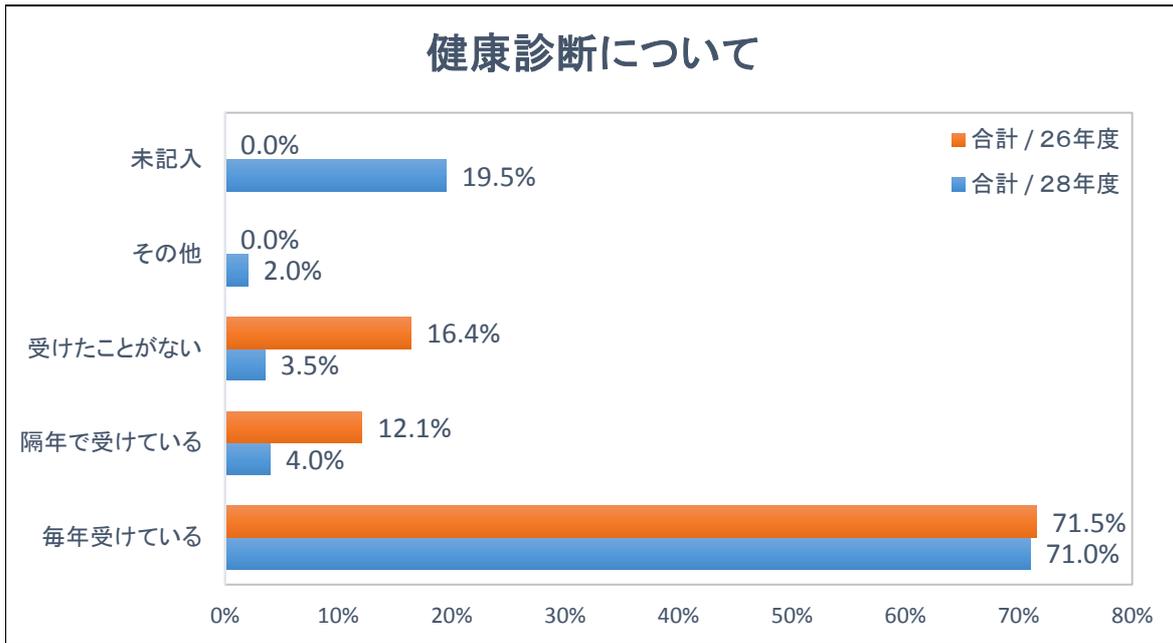
平成26年度より、正規職員の人が27.2%減り、無職の人が25.8%増えている。

#### (5) 健康について



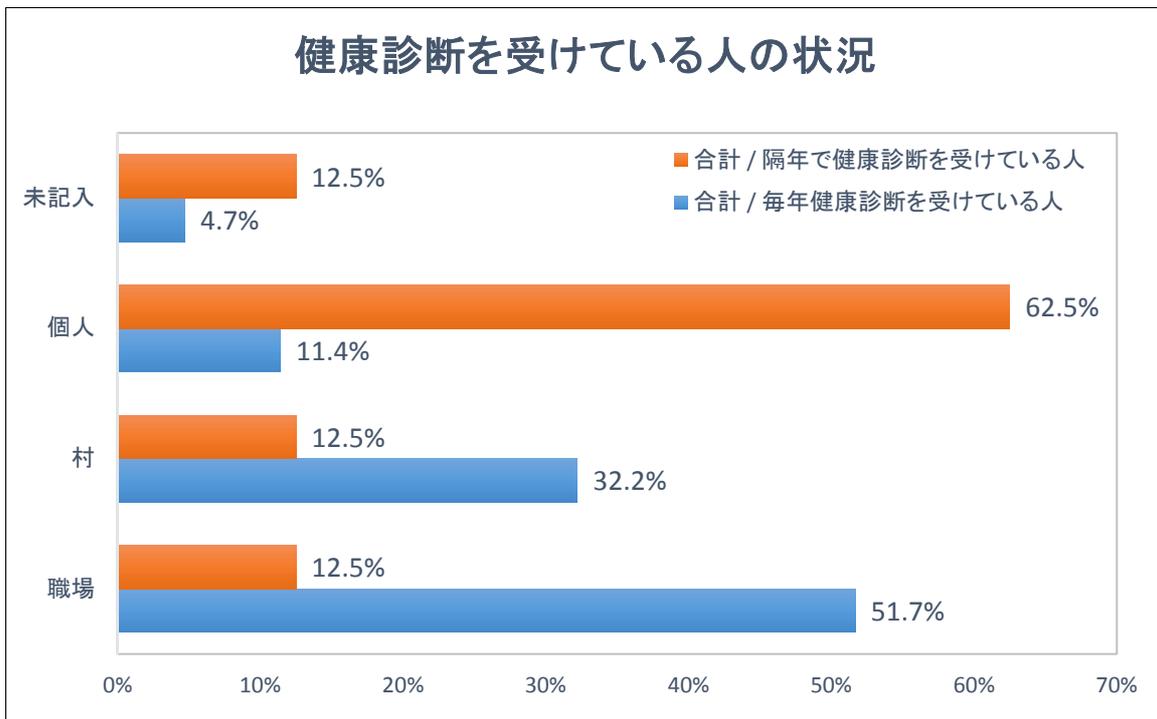
平成26年度より、関心がある人が2.3%増え、関心がない人は3.8%減っていた。

(6) 健康診断について



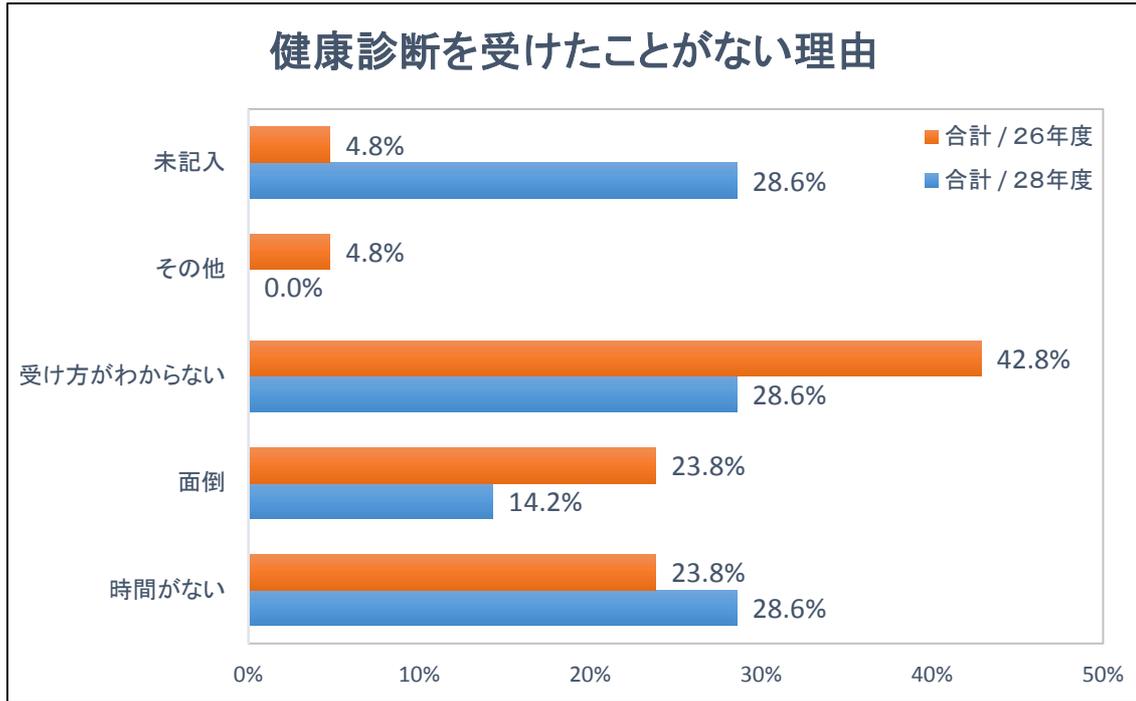
平成26年度より、隔年で受けている人が8.1%・受けたことがない人が12.9%減っているが、未記入の人が19.5%あった。

(6) ①健康診断を受けている人の状況について



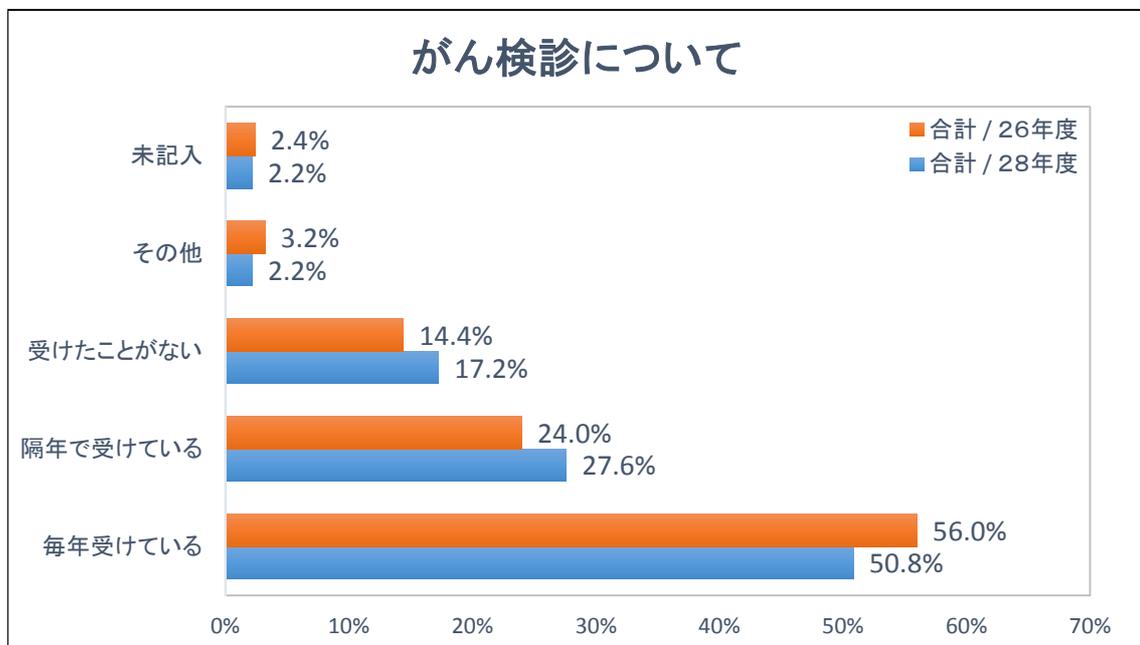
毎年健康診断を受けている人は職場・村・個人の順に多く、隔年で健康診断を受けている人は個人が62.5%と最も多く、職場・村・未記入は同率だった。

(6) ②健康診断を受けたことがない理由について



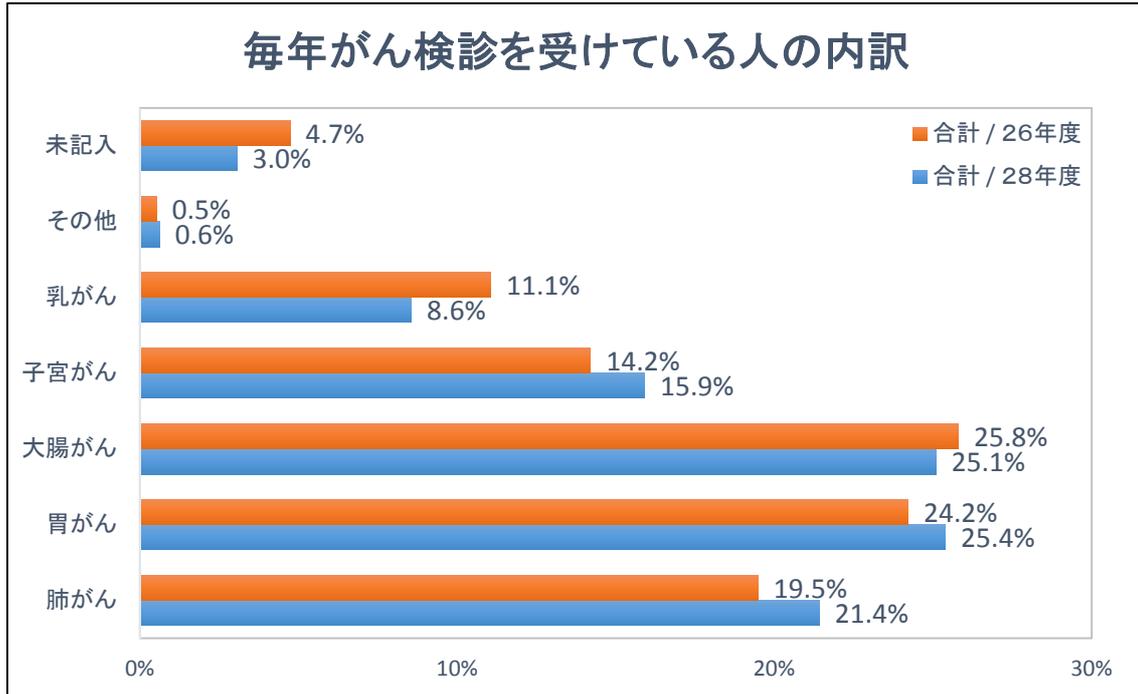
平成26年度より、受け方がわからない人は14.2%・面倒という人は9.6%減り、時間がない人は4.8%増えている。未記入の人が28.6%と、1/4以上あった。

(7) がん検診について



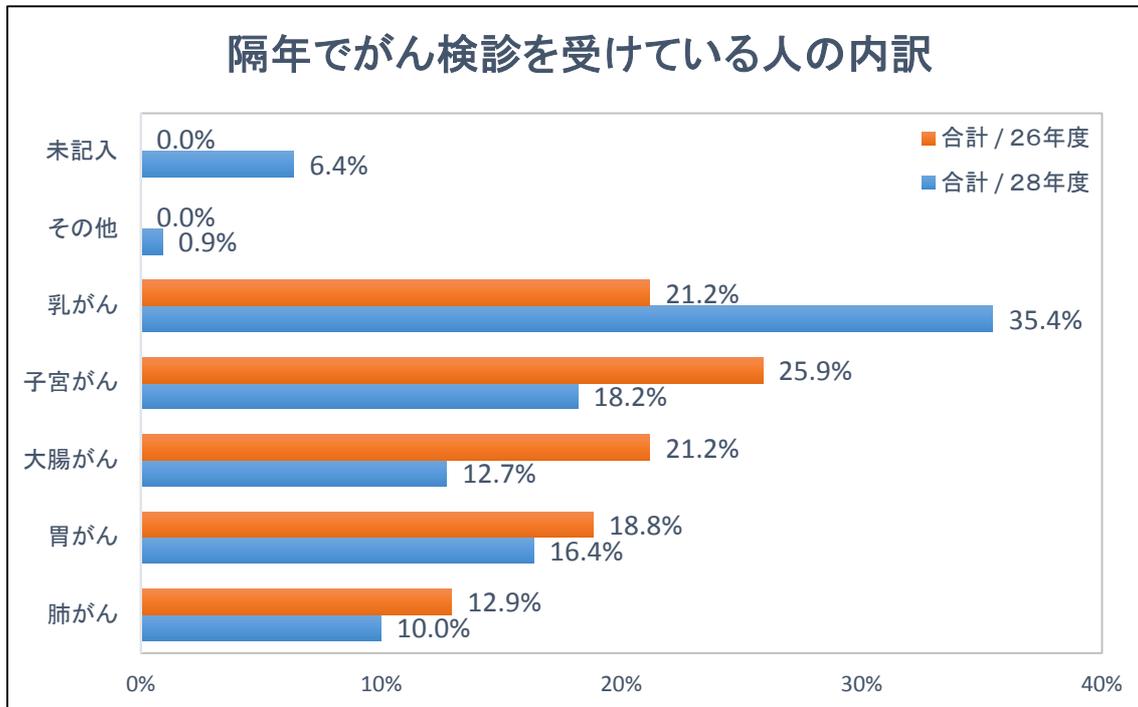
平成26年度より、がん検診を毎年受けている人が5.2%減り、隔年で受けている人は3.6%・受けたことがない人は2.8%増えている。

(7) ①毎年がん検診を受けている人の内容について



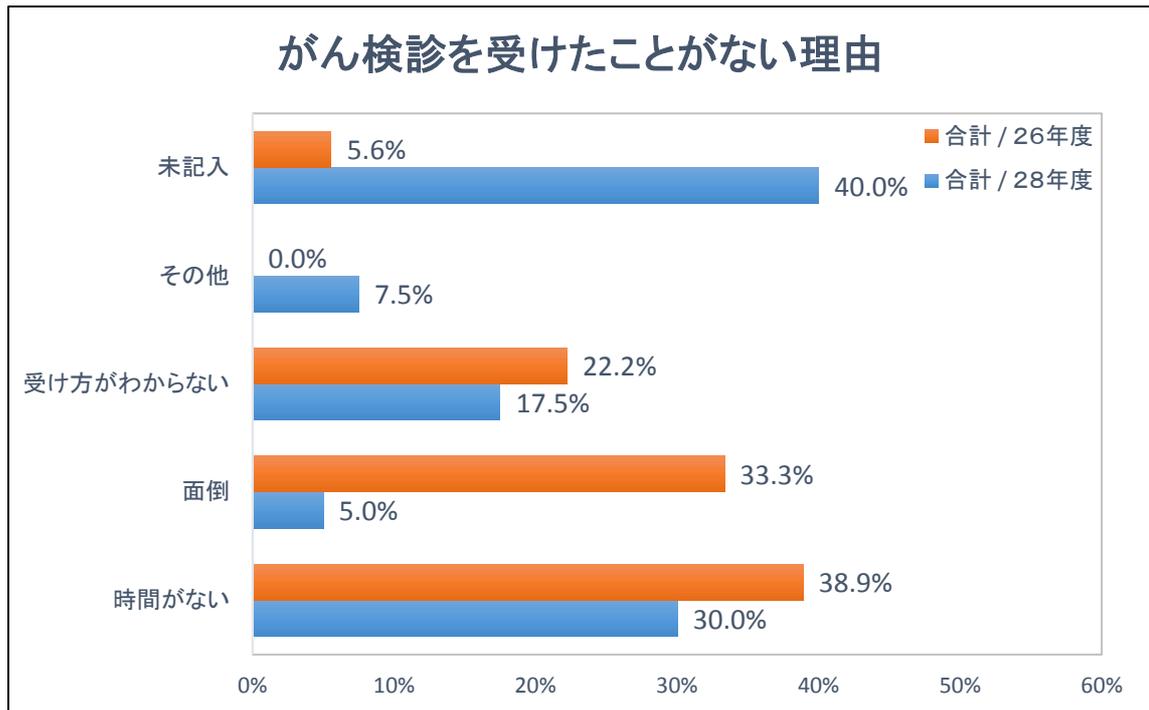
平成26年度より、肺がん・胃がん・子宮がんが増加し、大腸がん・乳がんは減っている。

(7) ②隔年でがん検診を受けている人の内容について



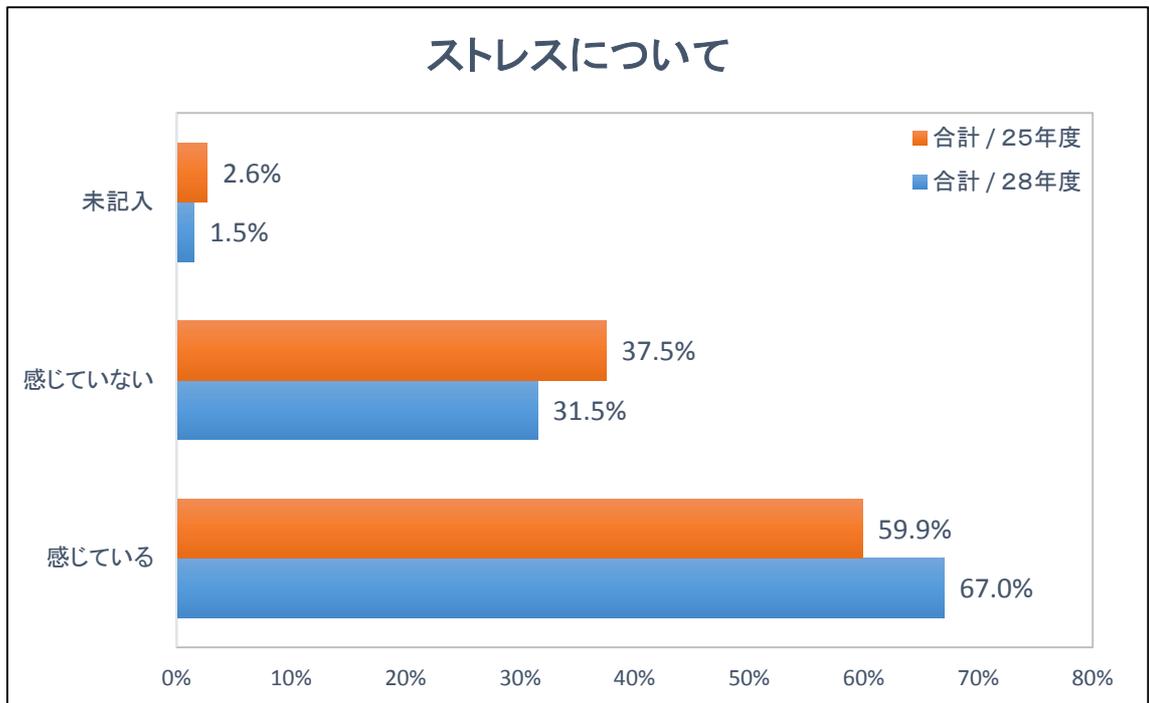
平成26年度より、乳がんは約1.7倍増えているが、他のがん検診は減っている。

(7) ③がん検診を受けたことがない理由について



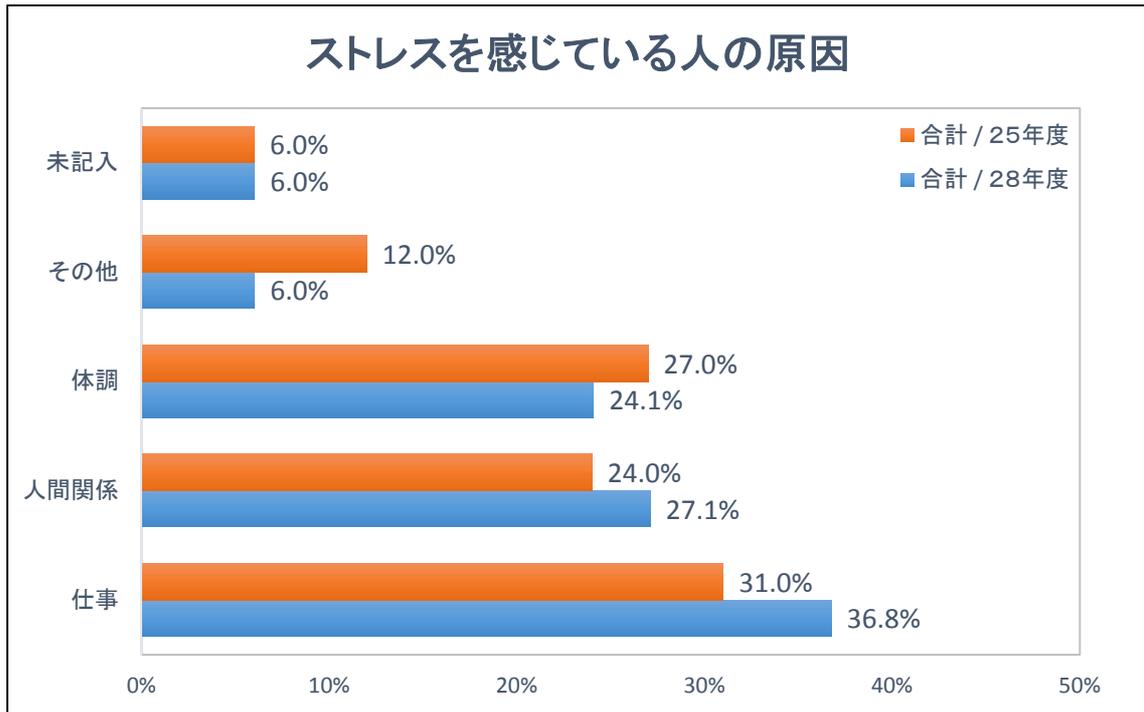
平成26年度より、面倒という人は約1/6に減っていた。未記入の人が、40%あった。

(8) ストレスについて



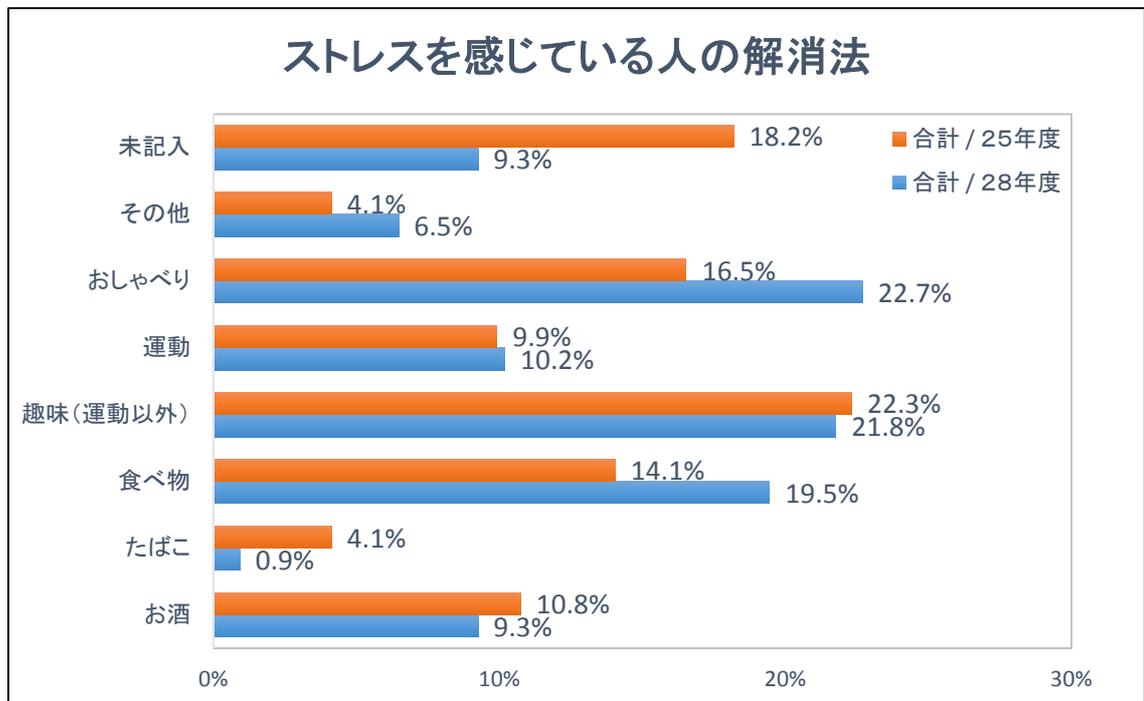
平成25年度より、ストレスを感じている人が7.1%増えている。

(8) ①ストレスの原因について



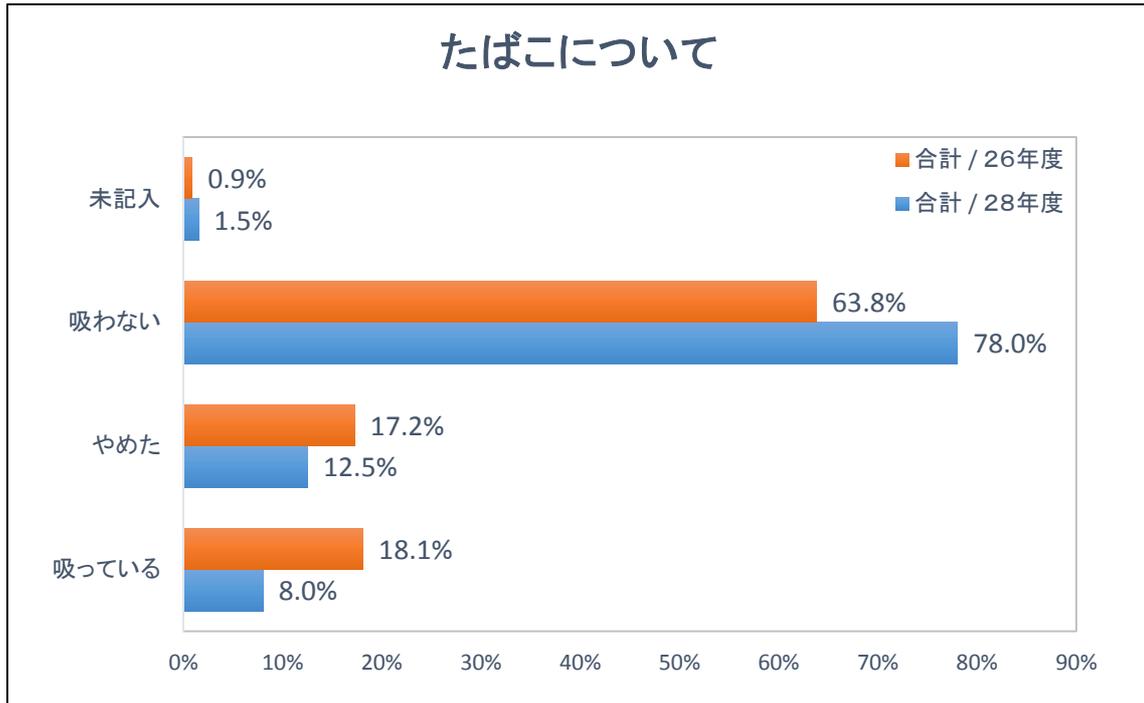
平成25年度より、仕事・人間関係が増え、体調・その他は減っている。  
その他の内訳は、家族のこと・子育ての記入があった。

(8) ②ストレス解消法について



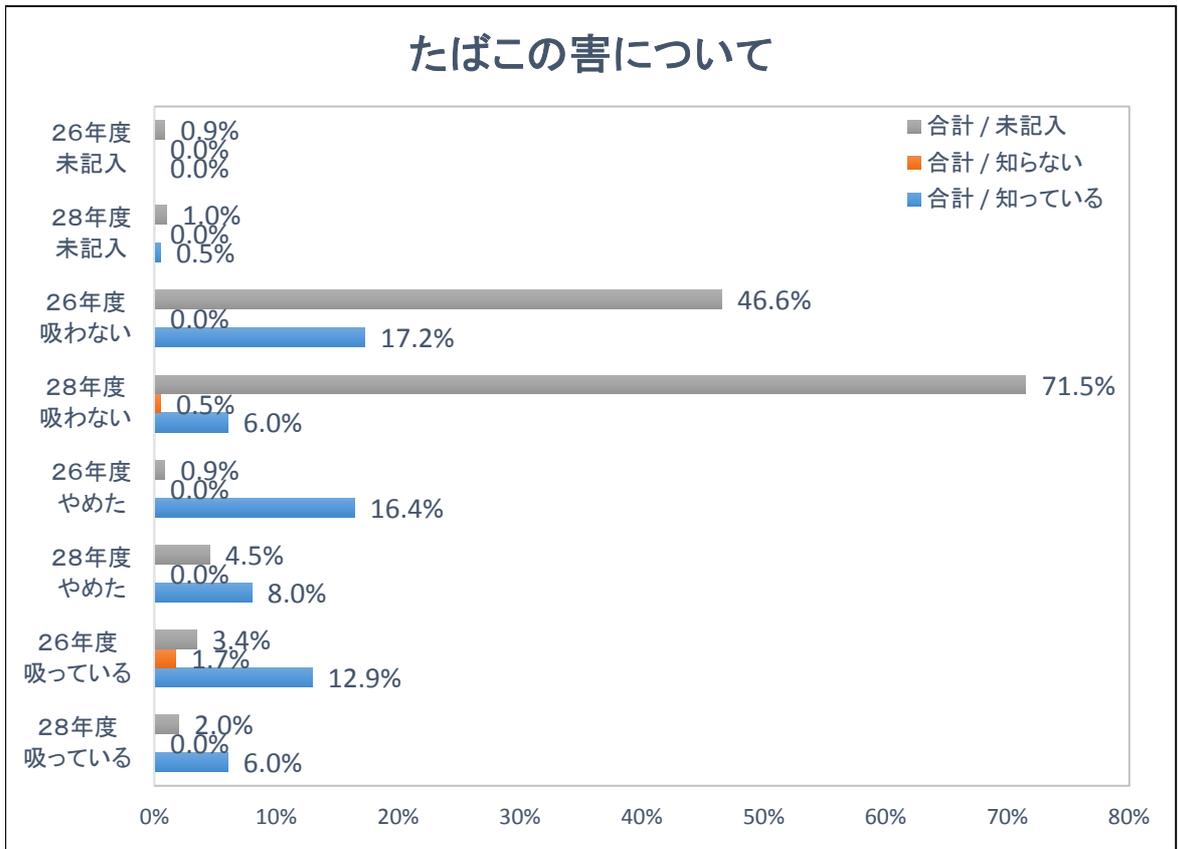
平成25年度は趣味(運動以外)が最も多かったが、おしゃべりが22.7%と最も多かった。

(9) たばこについて



平成26年度より、吸わない人が約1.2倍増えている。

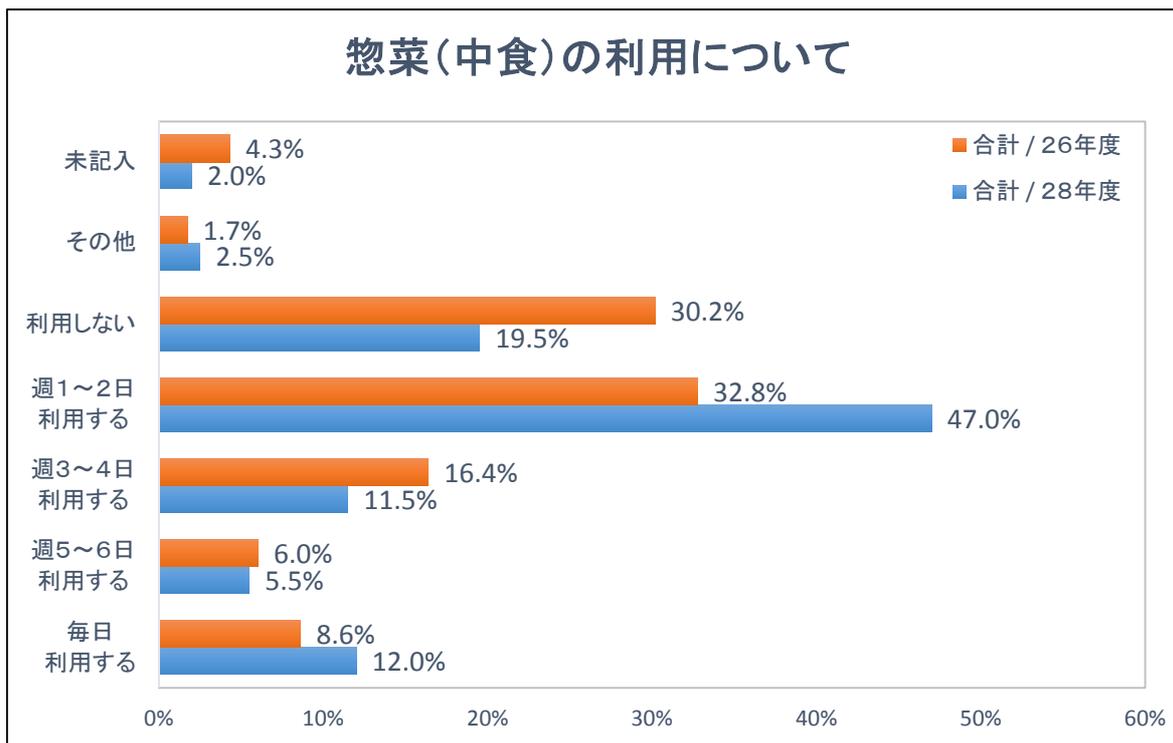
(9) ①たばこの害について



平成26年度と同様に、たばこを吸わない人の未記入が71.5%と最も多かった。

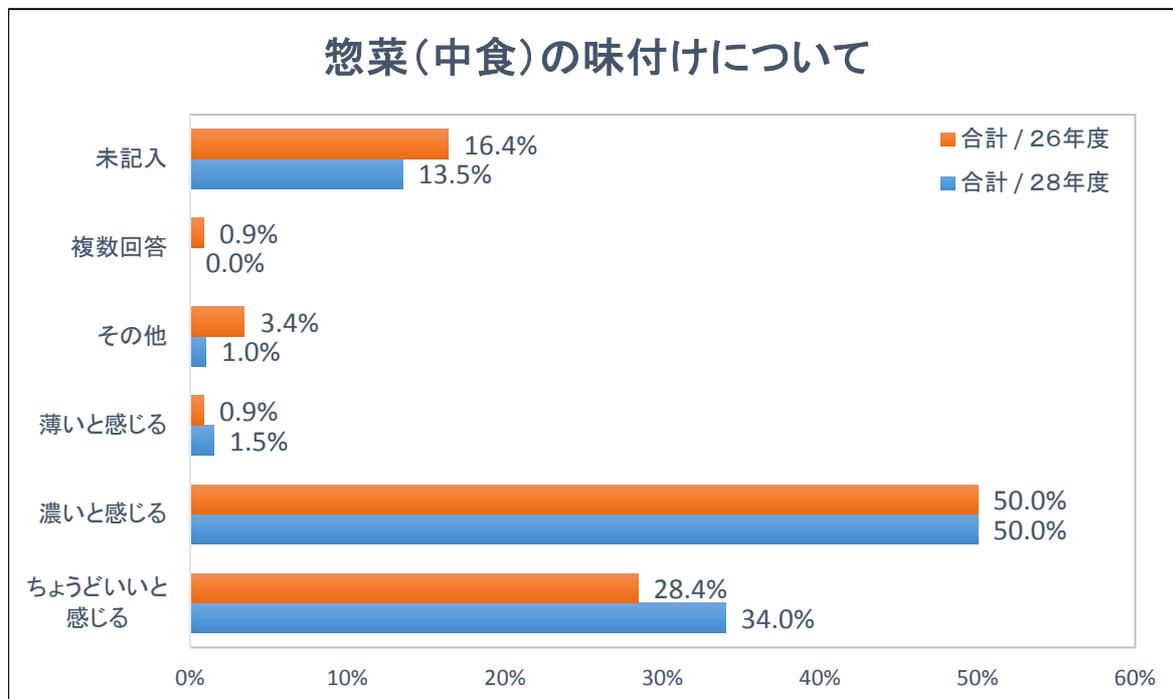
たばこをやめた人・吸っている人でたばこの害を知っている人は、約半分に減っている。

(10) 惣菜（中食）の利用について



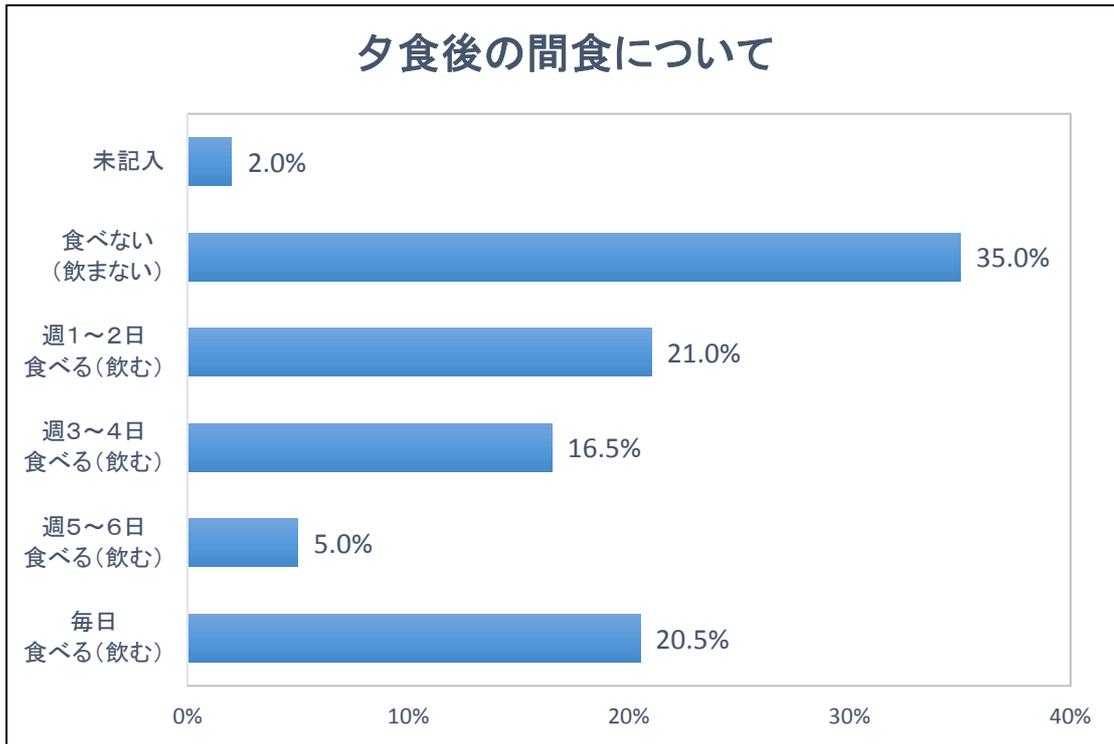
平成26年度より、週1～2日利用する人・毎日利用する人が約1.4倍増えている。

(11) 惣菜（中食）の味付けについて



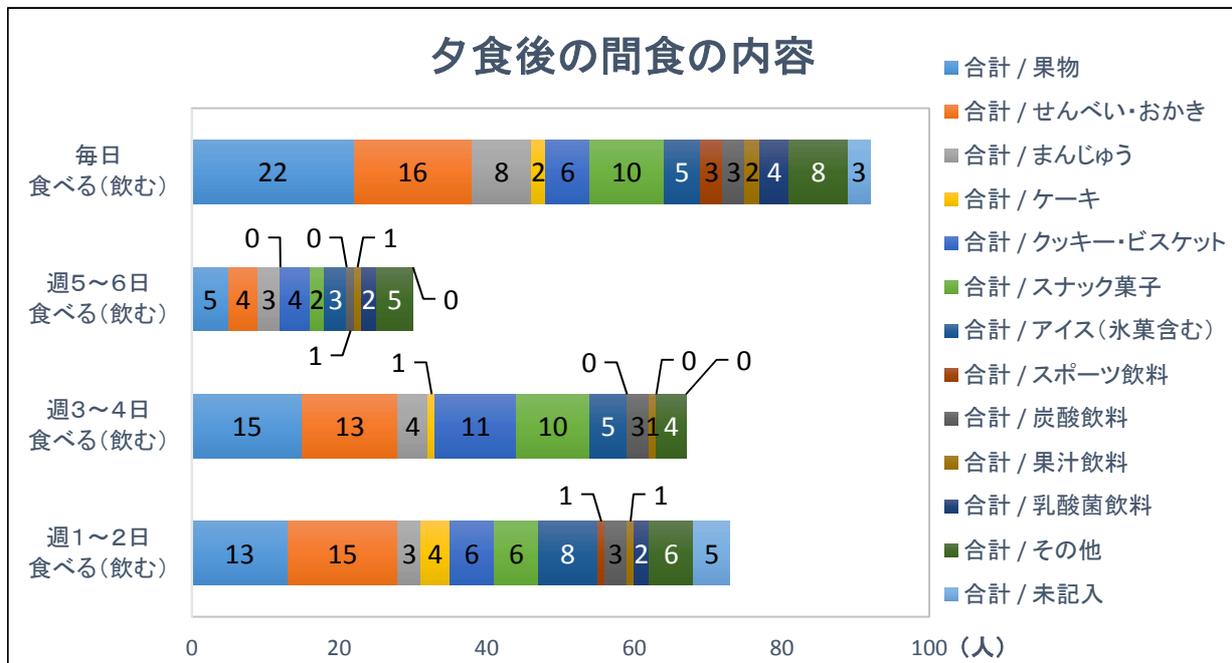
平成26年度より、ちょうどいいと感じる人が約1.2倍増えている。  
その他の内訳は、甘い・分からないの記入があった。

(12) 夕食後の間食について



食べない人が35.0%と最も多かったが、次いで週1~2日食べる(飲む)・毎日食べる(飲む)が多かった。

(12) ① 夕食後の間食の内容について



毎日食べる(飲む)人・週5~6日食べる(飲む)人・週3~4日食べる(飲む)人では、果物が最も多かった。

内容別でも果物が最も多く、次いでせんべい・おかき、スナック菓子となっている。

### (13) 考察

健康に関心がある人は94.5%と、年代に関係なく健康への関心が高まっている事が伺えた。しかし、健康診断（平成26年度は特定健診）を毎年受けている人・がん検診を毎年受けている人が減少していた。健康診断を受けたことがない理由では、面倒・受け方がわからないという人が減少し、時間がない人が28.6%と増えている。また、がん検診を受けたことがない理由では、面倒という人は大きく減少し、時間がない・受け方がわからないという人も減少しているが、やはり忙しくしておられる方が多く健康診断・がん検診を受ける時間が取れない実情があることが伺える。

ストレスを感じている人は増加し、仕事の原因という人も増加していた。おしゃべりや趣味でストレス解消しておられる人が多く、食べ物という人が増加しているので、量など食べ方に注意をしてもらうことが望まれる。

たばこは吸わない人が増加しているが、たばこの害について知っている人が少ない。未記入者が多い事から、知っている人が実際にはもう少し多いのではないかと思われる。

惣菜（中食）の利用については、週1～2日利用する人・毎日利用する人が増加し、利用しない人は減っていた。また、惣菜（中食）の味付けについては、ちょうどいいと感じる人・薄いと感じる人が増加し、食べる機会が増えたことで濃い味に慣れた人が増えたのではないかと思われ、薄味の推奨がまだまだ必要なことが伺えた。

夕食後の間食は、毎日食べる（飲む）・週5～6日食べる（飲む）を合わせると約1/4おられたので、生活習慣の改善を啓発していくことが望まれる。夕食後の間食の内容では、毎日食べる（飲む）人・週1～2日食べる（飲む）人が色々な種類の物を食べておられた。

今後も情報提供や啓発を継続し、健康意識の高い人がさらに増えて行動へと結び付くような健康づくり事業を進め、健康寿命の延伸へと繋げていきたい。